

**Grammar Rules (エッセイにおける必須文法)**

このセクションではエッセイを書くに当たってこれだけは絶対に守らなくてはダメという文法項目を簡単に説明します。

**Subjects and Verbs (主語と動詞)**

すべての英文には主語と動詞がなければならない。これはとても簡単なことですが忘れると文章がたちまち意味のわからないことになってしまう大変重要な文法項目です。

○ I like a dog.

× I a dog. 動詞が欠けている

× like a dog. 主語が欠けている

※このように主語の”I”が欠けても、動詞の”Like”が欠けても文が成り立たない

どんなに長いセンテンスでも

- Subject(主語)

- Verb(動詞)

この2つは絶対に文に存在しなければならない！

Example: What I only care about is my dog.

S V

“What I only care about” = 主語(S)

“is” = 動詞(V)

(訳: 私がただ唯一気にしているものは私の犬だけだ)

このようにどんなに長いセンテンスであろうが S と V は必ず存在しなければならない。

Question: 下記に書いてある英文の主語と動詞を見つけよ

English sentences always have at least a subject and verb.

(訳: 英文には絶対に少なくとも一つの主語と一つの動詞がなければならない)

Answer: 主語: English sentences 動詞: have

Conjunctions (接続詞)

**FANBOYS** (For, And, Nor, But, Or, Yet, So): 等位接続詞(coordinating conj.)

まずは文中で最も頻繁に使う接続詞たち、FANBOYS。

上記の通りそれぞれ接続詞の頭文字を取っています(なので覚えやすいですね)

For と Yet を接続詞として使うというのはあまり見たことがないかもしれませんが、この 2 つも実は接続詞として使用出来るということは覚えておいたほうがいいでしょう。(For は because と同じ意味、Yet は But と同じ意味)

① And と Or と Nor の使い方:

基本的に文と文を繋げる役割なので繋げたい文の間に置きます

例: I like my dog and take care of him.

※ 接続詞は必ず同じ品詞で繋げなければならない

⇒ I like my grandmother **and** respect her. (私は祖母が好きで尊敬している)

V1

V2

このように同じ品詞(この場合動詞)を繋げているのがわかります。

つまり「美しくて優しい女性」という文を英語にすると形容詞の美しい、優しいを繋げたいので A beautiful **and** gentle woman. という風に形容詞を and で繋げるということです。

他の例も載せておきましょう:

1. I like **and** play tennis.
2. She is beautiful **and** gentle.
3. I like apples **and** oranges
4. It goes up **and** down
5. My sister **and** I like apples.

1.は動詞、2.は形容詞、3.は名詞、4.は副詞、5.は名詞(主語)を繋げています。

※ もし繋げるのが2つ以上の場合 ,(カンマ)で繋げていき最後の語句の前に and や or をつけます

⇒ apples, oranges, **and** pineapples.

⇒ apples, oranges, **or** pineapples.

### ②and と or で違う主語の文を繋げる場合

接続詞①では主に and と or などの用法を解説しましたが、もう一つ大事なルールがあります。それは違う主語を繋げる時です。

上の解説によると「同じ品詞を繋げていればいいのだから前の文の主語と違う主語の文を繋げるときもそれに則ればいい」ということになりましたが、そうではありません

### 違う主語を持つ文を繋げる場合の使い方

and や or の前にカンマ(,)を置く

例: I like apples, and my sister likes oranges.

S                                  S

このように主語が違う文、I like apples と my sister likes oranges を繋げる場合は必ず カンマ(,)と and/or で繋げること。

### ③for, but, yet, so の使い方

使い方は②and と or で違う主語の文を繋げる場合と同じ。

ただ、主語が同じであろうとなかろうと for/but/yet/so の前に必ずカンマ(,)を置く

例:

1. I think, so I exist.
2. I trust him, for he trusts me.
3. My older sister is active, but my younger brother is not.
4. This problem seems easy, yet it is actually difficult.

### ※ 接続詞を1つの文中に多用しないこと

- This problem seems easy, but it is actually difficult.
- × This problem seems easy, but it is actually difficult, but I will try my best, and my friend helps me with it.

上記のように接続詞を一つの文に多用すると文が長くなってしまいます。

接続詞を文中に多用しないようにしましょう。

従位接続詞(subordinating conj.): when, although, because など

使い方は2通りあります。

① 文頭に置く(カンマと一緒に使う)

② 文中に置く(カンマなし)

ここでは従位接続詞がたくさんあるので「～なので、だから」という意味の **Because** を例にとって説明します。

用法① **Because** I did not study for exams, I got bad marks.

(試験勉強をしなかったなので、悪い点数を取ってしまった)

用法② I got bad marks on exams **because** I did not study for them.

(テストで悪い点数をとってしまった、なぜなら試験勉強をしなかったからだ)

違いに気づいたでしょうか？

用法①では **Because** を文頭に置いた後、カンマ(,)を使用しているのに対し、用法

②ではカンマ(,)がありません。

**従位接続詞を文頭に置いたときは必ずカンマを置き、文中に置いたときはカンマを置かない**というのが正しい論文英語のルールです

もし ,because などとやってしまった場合は正しい英語文法からは外れているので減点されます。ミスしないようにしましょう。

**Word order(語順)**

ここでは、簡単に英語の語順を簡単に見なおしていきます。

英語小論文/英作文を添削していてよく見受けられるミスは主に **adverb(副詞)**にあります。これは作者の経験上なので一般論ではないかとは思いますが、結構な数の方が知らず知らずの内にミスしています。なので簡単に副詞に集中して解説します。(よく学校で見る **SVO** や **SVOC** などあまりカバーしませんので各自不安な方は復習してください)

**①副詞形容詞名詞の順序 V.I.P.**

「とても美しい女性」と英語で言う時は

A very beautiful woman

と言いますね。

品詞は **very = 副詞**、**beautiful = 形容詞**、**woman = 名詞**となっています。

順番は書いてある通り副詞+形容詞+名詞です。

これを覚えるための **tip(秘訣)**は **V.I.P.**を覚えれば簡単です。

**V.I.P. = 重要人物**という意味ですが、これは **Very Important Person** の略称です。

ここで気づいて欲しいのはちゃんと副詞形容詞名詞の順番になっていること。

**Very Important Person**

副      形      名

となっています。これは簡単ですがたまに知らずにミスをすることがあるのでぜひ **V.I.P.**を覚えておいたほうがいいでしょう。

**②副詞は一般動詞の前、Be 動詞助動詞の後**

副詞はたくさんありますが、ここでは **actually**、**実際**という意味の副詞を使って説明します。

例:

I **actually** have a different opinion.

I am **actually** sad.

I can **actually** try it out.

このように副詞は **Be 動詞**、**助動詞(can, could, will, shall, must など)**の後ろ、**一般動詞(Be 動詞助動詞以外)**の前に置きます。

※ **強調のために文頭に置くことも出来ます**(あまり多用しないように)

**Actually**, I have a different opinion.

**Transition Words & Phrases (転換語)**

転換語というのはいわゆる**接続副詞 (conjunctive adverbs)**のことです。  
読者がスムーズに論文を読み、内容が理解できるようにするために使われます。  
これらはよく、段落が変わるとき、話が変わるときに使われるもので

「つまり」

「さらに」

「しかし」

「次に」

などの言葉のことです。覚えておくとエッセイがスムーズに書けるようになるのでぜひ覚えておきましょう。

普通の文にも使用出来るので使い方を説明します。

**使い方**

例: I was sleepy. **Therefore**, I went to bed.

ここで注意していただきたいのは、**接続詞 FANBOYS の時と比較して二つの文が一回ピリオド(.)で終わっていることです**。FANBOYS では

I was sleepy, so I went to bed.

となりますが接続副詞 **Therefore** だとそうは出来ません。

×I was sleepy, therefore, I went to bed.

とは間違っても書くことのないように。

**Transition Words & Phrases list**

- Therefore
- Thus
- Hence
- Accordingly
- Consequently
- However
- Moreover
- Furthermore

その他にもまだまだあるのでもっと知りたい方は下の URL 参照のこと

<http://larae.net/write/transition.html>

### Questions & Comments

ここまで簡単に主要なものをカバーしました。しかし守らなければならないルールはまだあります。それらをここに書ききるとなると難しいものがありますので割愛させていただきます。

もしわからないことや不明な点があればEER トップページでの Ask Questions かお問い合わせフォームでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

なお、この EER Grammar Rules は皆さんの英語小論文を添削するなかである文法項目のミスが多く見受けられた場合、解説して欲しいという需要が多い場合に随時更新していきます。

もし改善点や思ったことがあれば [english.essay.reviser@gmail.com](mailto:english.essay.reviser@gmail.com) までご連絡ください。

English Essay Reviser 作者

\*作者に無断でのドキュメントの転用、販売は一切禁止されています